



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 サイボー株式会社
 コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 米澤 幸男
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-267-5151

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,709	△18.6	103	△52.5	118	△44.4	76	△34.1
2020年3月期第1四半期	2,101	△10.5	217	—	212	—	116	—

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 221百万円 (203.0%) 2020年3月期第1四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.83	—
2020年3月期第1四半期	8.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,144	15,707	48.7
2020年3月期	27,351	15,582	49.6

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 13,704百万円 2020年3月期 13,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,306	△16.8	239	△38.7	257	△43.0	144	—	10.91
通期	6,675	△12.2	533	△25.6	548	△23.0	290	—	21.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	14,000,000 株	2020年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	800,007 株	2020年3月期	800,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	13,199,993 株	2020年3月期1Q	13,189,531 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が全世界的な広がりを見せ、国内外における移動制限や生産活動の停止、各種イベントの開催自粛、商業施設の営業自粛、不要不急の外出自粛など経済活動が大幅に制限されることとなりました。国内経済はもとより、世界経済の先行きは予断を許さない状況にあります。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では各部門において新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことにより需要が落ち込み、大変厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,709百万円（前年同期比18.6%減）となりました。営業利益は103百万円（前年同期比52.5%減）となり、経常利益は118百万円（前年同期比44.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

繊維事業を営む各事業部は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う衣料品を扱う小売店等の営業自粛や個人消費の落ち込み、関連商品を取り扱うプロ野球の開幕の遅れ、緊急事態宣言により当社グループにおいて営業活動の自粛等を行った影響から、販売が大幅に減少し減収減益となりました。なお、自社ブランドを百貨店中心に展開してきたメンズカジュアル品につきましては、前期中に撤退しており、コロナ禍の百貨店休業の影響は直接的にはありませんでした。

この結果、繊維事業の売上高は938百万円（前年同期比27.3%減）、営業損失は9百万円（前年同期は16百万円の営業利益）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、前期に未活用不動産であった2箇所新たな小規模商業施設を建築し賃貸を開始し、さらに新たな病院施設として「かわぐちレディースクリニック」を建築し、2020年4月から賃貸を開始したことにより、増収増益となりました。また「イオンモール川口前川」は、近隣大型商業施設に比べ回遊型ショッピングができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに埼玉県内の医療体制の充実を目的とした病院施設を賃貸することにより、不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

この結果、不動産活用事業の売上高は590百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は174百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業㈱が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、新型コロナウイルス感染防止の観点から自主的に休業を行った影響により大幅な減収となりました。なお、5月末から一部のサービスを制限して通常営業を再開しておりますが、引き続き感染防止に配慮した営業を継続してまいります。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は118百万円（前年同期比50.0%減）、営業損失は73百万円（前年同期は42百万円の営業利益）となりました。

④ その他の事業

ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物の新規レンタル契約獲得が伸び悩み、またギフト品販売が低調となり減収となりましたが、経費が削減され営業損失は減少しました。

神根サイボー㈱のインテリア施工事業は、一般住宅施工が増えたことや、大口物件の受注もあり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は257百万円（前年同期比87.5%増）、営業利益は21百万円（前年同期比174.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ793百万円増加して28,144百万円となりました。これは主に未収消費税等（流動資産の「その他」）が減少したものの、新しい大型商業施設等の建設に伴う建設仮勘定（有形固定資産の「その他（純額）」）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ667百万円増加して12,437百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ125百万円増加して15,707百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ141百万円増加して1,698百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ65百万円増加して557百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の減少や売上債権が増加したものの、仕入債務や預り保証金の増加、その他に含まれる未収消費税等が減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ859百万円増加して921百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動の結果、得られた資金は前第1四半期連結累計期間に比べ706百万円増加して504百万円となりました。これは主に長期借入による収入が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の収束時期が不透明で、不確定な要素が多いことから、事業活動及び経営成績に与える影響を適正かつ合理的に算出することが困難と判断し未定としておりましたが、緊急事態宣言解除を受け、経済活動再開の動きがみえてまいりましたので、当社が現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

詳細につきましては、本日（2020年8月7日）公表の「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,818,024	1,958,955
受取手形及び売掛金	979,880	958,387
有価証券	99,990	99,950
商品及び製品	1,042,157	1,109,436
仕掛品	11,961	7,703
原材料及び貯蔵品	32,727	34,291
その他	341,634	92,269
貸倒引当金	△5,024	△5,092
流動資産合計	4,321,351	4,255,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,478,515	9,394,496
土地	7,462,378	7,468,349
その他（純額）	1,625,848	2,431,717
有形固定資産合計	18,566,742	19,294,563
無形固定資産	24,425	22,650
投資その他の資産		
投資有価証券	3,672,718	3,874,028
その他	835,790	774,940
貸倒引当金	△69,531	△77,233
投資その他の資産合計	4,438,977	4,571,735
固定資産合計	23,030,144	23,888,949
資産合計	27,351,496	28,144,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	469,612	442,620
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	811,450	815,400
未払法人税等	12,448	17,206
賞与引当金	53,958	24,033
役員賞与引当金	6,350	1,587
その他	215,906	287,146
流動負債合計	1,619,726	1,667,994
固定負債		
長期借入金	3,669,214	4,240,218
役員退職慰労引当金	252,838	232,013
退職給付に係る負債	184,164	188,415
長期預り保証金	5,494,917	5,565,218
資産除去債務	358,075	358,953
その他	190,412	184,309
固定負債合計	10,149,622	10,769,129
負債合計	11,769,349	12,437,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	872,299	872,299
利益剰余金	11,491,892	11,477,361
自己株式	△489,395	△489,395
株主資本合計	13,276,796	13,262,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	350,782	506,926
退職給付に係る調整累計額	△66,078	△64,850
その他の包括利益累計額合計	284,703	442,076
新株予約権	6,265	4,347
非支配株主持分	2,014,381	1,999,038
純資産合計	15,582,147	15,707,726
負債純資産合計	27,351,496	28,144,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,101,665	1,709,848
売上原価	1,504,586	1,285,779
売上総利益	597,079	424,068
販売費及び一般管理費	379,448	320,694
営業利益	217,630	103,374
営業外収益		
受取利息	333	300
受取配当金	46,126	43,453
その他	2,949	7,297
営業外収益合計	49,409	51,052
営業外費用		
支払利息	5,983	7,017
持分法による投資損失	10,258	13,803
貸倒引当金繰入額	26,072	7,691
その他	12,166	7,632
営業外費用合計	54,481	36,145
経常利益	212,559	118,281
特別利益		
新株予約権戻入益	1,408	2,196
特別利益合計	1,408	2,196
特別損失		
減損損失	-	23,971
特別損失合計	-	23,971
税金等調整前四半期純利益	213,967	96,505
法人税、住民税及び事業税	33,932	34,845
法人税等調整額	43,979	△663
法人税等合計	77,912	34,181
四半期純利益	136,054	62,324
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	19,323	△14,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	116,731	76,907

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	136,054	62,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62,099	152,595
持分法適用会社に対する持分相当額	△799	6,748
その他の包括利益合計	△62,899	159,344
四半期包括利益	73,155	221,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,636	234,280
非支配株主に係る四半期包括利益	19,519	△12,611

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	213,967	96,505
減価償却費	148,071	164,320
減損損失	-	23,971
貸倒引当金の増減額(△は減少)	26,134	7,770
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,398	△29,925
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,762	△4,762
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,148	4,250
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△18,041	△20,824
受取利息及び受取配当金	△46,460	△43,754
支払利息	5,983	7,017
持分法による投資損益(△は益)	10,258	13,803
売上債権の増減額(△は増加)	184,357	21,493
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,540	△64,584
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,638	△26,992
預り保証金の増減額(△は減少)	△14,247	70,300
その他	61,724	331,246
小計	460,638	549,836
利息及び配当金の受取額	49,187	46,482
利息の支払額	△5,983	△7,017
法人税等の支払額	△11,307	△31,737
営業活動によるキャッシュ・フロー	492,535	557,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△96,640	△928,909
投資有価証券の取得による支出	△387	-
投資有価証券の売却による収入	-	4,430
定期預金の増減額(△は増加)	16,948	148
貸付けによる支出	△1,200	-
貸付金の回収による収入	1,340	1,350
その他	18,356	1,656
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,583	△921,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	140,000	90,000
短期借入金の返済による支出	△110,000	△60,000
長期借入れによる収入	-	800,000
長期借入金の返済による支出	△123,621	△225,045
配当金の支払額	△91,354	△91,438
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	5,190	-
その他	△18,730	△5,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,248	504,840
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,702	141,078
現金及び現金同等物の期首残高	1,782,235	1,557,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,938	1,698,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,287,739	499,297	236,415	2,023,452	78,212	2,101,665	—	2,101,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,582	—	69,682	59,393	129,075	△129,075	—
計	1,289,839	566,879	236,415	2,093,134	137,606	2,230,741	△129,075	2,101,665
セグメント利益	16,490	156,299	42,225	215,015	7,910	222,926	△5,295	217,630

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	935,919	523,381	118,090	1,577,391	132,457	1,709,848	—	1,709,848
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,147	67,580	—	69,728	125,505	195,233	△195,233	—
計	938,066	590,962	118,090	1,647,119	257,962	1,905,082	△195,233	1,709,848
セグメント利益 又は損失(△)	△9,071	174,765	△73,159	92,534	21,749	114,284	△10,909	103,374

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産活用事業」において、今後の使用見込みがなくなったことにより、当第1四半期連結累計期間に減損損失23,971千円を計上しております。